



## 新型コロナウイルス 第7波

### 新規感染者数の再増加!

第7波の規模を抑えるためにも、今後私たちは何に気をつけるべきなのか?

各地域では20代・30代といった世代の新規感染者に占める割合が増加していることも、これまでの流行開始の状況と同様です。

第6波もピークを過ぎた後は、第5波の後のようには急激には感染者も減りきらず、減少速度は非常に緩慢でした。

これは、オミクロン株に対してはワクチンによる感染予防効果が落ちており感染の連鎖を断つことが難しいこと、第6波では10代以下の若い世代での感染者が多く感染伝播が維持されていることなどが原因だと言われています。

#### 『感染増加の主な原因』

- 1) まん延防止等重点措置の解除
  - 2) 年度末・年度始めのイベントに関連した感染
  - 3) オミクロン株『BA.2』の拡大
- といった3つの要因が加わり再増加に向かっていると考えられているようです。

オミクロン『BA.1』からステルスオミクロン『BA.2』『XE』への置き換わりと同じタイミングで再増加に向かっており、第6波以上の流行が起こる可能性が懸念されています。

ほとんどの感染者は誰にも感染させずに回復している一方で、一部の人がたくさんの人に感染させてクラスターを生じさせているのが、この新型コロナの特徴です。

この「1人からたくさんの人」への連鎖が生じることで、感染者の急激な増加に繋がります。特にマスクを外して長時間、たくさんの人が飲食を行うような歓迎会のような場はこうした状況が発生しやすくなります。

各自治体によってルールが異なりますが、感染リスクの高い会食では感染防止対策を徹底することが求められます。

感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の継続の徹底が求められます。

最後に、新型コロナワクチン接種によって感染予防効果を再び高めることができるので、対象となる方は接種の推進が求められます。ただし、ワクチンだけで感染を防ぎ切ることが困難であるため、ワクチン接種後もこれまで通り、感染対策の継続が必要となる厳しい状況がまだまだ続きそうです。



適切な人と距離を保ちましょう。できるだけ2m以上を目安としています。



換気などで室内空気を新鮮に保ちましょう。



マスクの着用を徹底しています。



人の触れる箇所を定期的に消毒しています。



イラストサインを掲示する時にタイトルとして



定期的な検温測定を実施しています。



2022年  
5月

しのめライフ

第125号  
令和4年  
5月15日発行

記事 介護サポート 統括ユニットリーダー課長 大嶺 博

## 東雲の丘では各企業とコラボレーションし職員の育成と地域貢献に努めてます(研修事業)

研修名	研修の特徴	実施日	コラボ企業
1 実務者研修①	・通信学習3か月間+通学学習8日:保有資格によっては免除科目もあります。 ・通信学習はEラーニング対応:空き時間にスマホでのご受講が可能です。	令和4年7月1日開講	株式会社 ガネット 日本総合福祉アカデミー
2 実務者研修②	介護力=人間力。介護は人と接する仕事で、利用者の思いに寄り添い、利用者の尊厳を大切にすることが大事です。介護技術だけでなく、利用者との円滑なコミュニケーションが図れるよう人間力アップのこころをサポートします。	令和4年10月開講	株式会社 沖縄タイム・エージェント 沖縄人材カレッジ
3 介護支援専門員試験対策講座	・施設職員が講師となり共に受験する職員対象に実施(希望により地域住民の方も参加可能)	令和4年8月~10月	施設職員対応
4 介護福祉士国家試験対策講座	・施設職員が講師となり共に受験する職員対象に実施(希望により地域住民の方も参加可能)	令和4年11月~1月	外部講師 補足講義予定
5 ユニトリリーダー研修(座学・実地)	・ユニトリリーダー座学は(オンラインで受講ができます) ・実地研修開催は未定(コロナウイルスの状況を見て開始)	令和4年4月~3月	一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会

## 東雲の丘 配食サービス事業

高齢者福祉施設のこころ配りを念頭に、栄養士による献立で安全で美味しい食事を朝食、昼食、夕食と一年365日ご自宅へ配達致します。

- ・朝食・・・490円(07:15~08:30)
- ・昼食・・・630円(11:15~12:30)
- ・夕食・・・630円(16:15~17:45)



普通食



キザミ食



流動食

- ※ 特別食を利用される場合は別途100円加算されます。
- ※ 特別食・・・柔菜食・キザミ食・ミキサー食・腎食・糖尿病・食物アレルギー、制限食
- ※ 離れて暮らすご家族様にもご安心して頂けますよう配達時に安否確認サービスを実施しております。

【サービス提供範囲】 南城市及び一部近隣市町村

※ 南城市 食の自立支援事業については、南城市からの助成があります。



## 高齢者介護・保育・学習塾・運動・食事に関することは、お気軽にご相談下さい

1 特別養護老人ホーム 東雲の丘	(定員100名)	完全個室ユニットケアが特徴です
2 東雲の丘 グループホーム	(定員9名×2棟)	完全個室の認知症ケアが特徴です
3 東雲の丘 グループホームデイサービス	(定員3名×2棟)	認知症の専門的ケアが受けられるのが特徴です
4 住宅型有料老人ホーム Newマチュビチュ	(定員24名)	完全個室の要支援から要介護の方まで入居できる施設です
5 東雲の丘 デイサービスセンター	(通常規模)	リハビリ、レク等を行い在宅生活継続を支援
6 東雲の丘 ショートステイ	(12床)完全個室	年中無休で「泊り」と介護ができる事業所です
7 サービス付き高齢者住宅 ハナミズキ	(定員18名)	60歳以上の虚弱な方から利用できます
8 しのめ小規模多機能型居宅介護事業所	(定員25名)	「通い」を中心に「自宅訪問」「事業所泊り」のサービスです
9 居宅支援事業所 東雲の丘		介護保険に関することを利用者の立場でケアプランを作成し在宅生活を支援します
10 東雲の丘 配食サービス事業		管理栄養士の献立のもと朝・昼・夕と毎食弁当をお届け致します
11 東雲の丘学習クラブ		小学生・中学生・高校生の授業と受験をサポートする学習塾
12 しのめnursery school (I・II) 保育園		(I事業所内保育所19名)(II企業主導型保育所:地域枠15名:従業員枠15名)
13 地域包括支援センター 東雲の丘		保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が在籍。高齢者やご家族様等の「総合相談窓口」

## 編集後記

未だ世界的に猛威を振っている新型コロナウイルス。初めての発症から3年の月日が流れましたが、感染が落ち着いた状況が続いています。少しずつ以前の生活スタイルに戻りつつあるのかなと感じております。外でのマスク着用の義務化の見直しや、飲食店利用の人数制限の緩和等感染防止対策をこれからも続けていながら感染が終息するのを祈るばかりです・・・

編集者:石島 恭介

住所:〒901-1203 沖縄県南城市大里字大城1392番地  
電話:098-946-2051 ホームページ:<https://www.kenshoukai.or.jp/>

### 栄養士のひとこと



#### ひとくちだけでも食べてみよう♪

みなさんは食べ物の好き嫌いがありますか?食べ物には色々な栄養が含まれていますが、「これさえ食べれば健康になれる!」というものはありません。そのため、好き嫌いになるべくしないで色々なものを食べてほしいです。すぐに好きになれなくてもまずはひとくち食べてみましょう♪

#### 苦手な食べ物を食べやすくするひと工夫



レバーの臭みは血のかたまりや脂肪を取り除いて牛乳や塩水につけてとります。ピーマンの苦みは油で炒めたり肉詰め焼きにしたりすると和らぎます♪日本には地域色豊かな地場産

物や郷土料理があり、世界には様々な料理があります。苦手な物が少なければこうした食材や料理を楽しみ食の幅を広げることができますね☆彡



#### 大切な食事のあいさつ いただきます・ごちそうさま

日本には食事の前後のあいさつがあります。「いただきます」にも「ごちそうさま」にも食べ物の命や食事を用意するためにかかった人たちの感謝の気持ちが込められています。



### 好きなところは?



記事 管理栄養士 比嘉 静香

### 手や指を動かして認知症を予防!!



~~手を使った運動の様子~~



記事 東雲の丘デイサービス 機能訓練員 仲間 笑子

手は第二の脳と言われています。つまり、手や指を動かすことが脳に与える影響はとても大きく、手や指を使った作業や体操をすることは、認知症の予防につながります。  
デイサービスでは、手指の体操や塗り絵、折り紙、磁石を使って図を作ったり、パズルをしたりと指先を使う運動を積極的に取り入れていきます。皆さんもご自宅で簡単にできることから認知症予防としてやってみてはいかがでしょうか。次回は、手や指を使った体操をご紹介します。

### しのめナーサリースクール便り

新年度が始まり、あっという間に1ヶ月が経ちました。子どもたちも日に日に園での生活に慣れてきたようです。新型コロナウイルス対策で安全管理へのご協力をお願いする中ではありますが、子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう取り組んでいきたいと思ひます。



園庭遊び

記事 石島 京香 (保育園事務員・子育て支援員)

### しのめ学習クラブ 5月分コラム



#### テーマ:市内中学校のテストについて

今年度より、市内の中学校(佐敷中と玉城中、他は確認中)における定期テストの扱い方が変更になりました。特に以下の2点が大きな変更となります。

- ① 中間テストの廃止  
これまで各学期にて「中間テスト」「期末テスト」が1度ずつ実施(3学期は期末テストのみ)でしたが、今年度より「中間テスト」が廃止され、代わりに「単元テスト」が導入されました。これは、各科目の各単元毎に学習が完了したら行われるテストとなります。これまでの「中間テスト」で評価していた成績の割合をそのまま「単元テスト」で評価するため、一つの大規模なテストが無くなった代わりに小〜中規模のテストが3〜4回増えると思われまひます。また、各学級によって授業進度は異なるため、一斉に実施するテストではありません。ここまでの内容を総括すると、小学校のテスト実施方法に似ていると言って良いでしょう。
- ② 単元テストの対策法  
これまでの「中間テスト」は実施日が事前に告知されていたため、実施日の1週間前から集中的に対策を行う生徒が多かったはずですが、「単元テスト」は実施日が各科目で異なるため、普段から授業内容、教科書内容を復習することを心がけていれば難しくはないはずでひます。また、出題方法は「表現・技能を中心」と教育委員会が公表しているため、ただの知識の暗記に偏重しない学習が必要となります。より、単元内容の深い理解が求められます。

記事 大城 功也 (学習クラブ講師)